

## 4. 学位論文

### (1) 修士論文提出要領

1. 提出期間：2年次12月下旬
2. 提出場所：研究科長へ提出
3. 提出物：修士論文（3部）
4. 提出資格：
  - ①標準修業年限（2年間）の最終学期以降であること（休学期間は除く）
  - ②修了必要単位数を修得見込みであること
5. 執筆要領：
  - ①使用言語：原則として日本語
  - ②体裁：
    1. 原則として用紙はA4サイズ・横書きとすること
    2. 表紙・裏表紙をつけること
    3. 表紙の次の白紙を1枚挿入すること
  - ③書式：
    1. 読みやすいように左右のマージンに配慮して全体をレイアウトすること
    2. 本論の前に目次をつけ、本論から各ページの下中央に通しのページ番号をふること
6. 審査・評価：
  - ①審査は、審査委員3名（主査1名、副査2名）を含む3名以上の審査委員会によって行われます。なお、研究指導教員は主査を担当できません。
  - ②審査委員会による最終試験は、学位論文の審査に合格したものについて、当該学位論文を中心として口述または筆記により行います。

### (2) 修士論文審査基準

1. 研究テーマの適切性：研究目的が明確で、課題設定が適切になされていること。
2. 情報収集の度合い：当該テーマに関する先行研究についての十分な知見を有し、立論に必要なデータや資料の収集が適切に行われていること。
3. 研究方法の妥当性：研究の目的を達成するためにとられた方法が、データ、資料などの処理・分析・解釈の仕方も含めて、適切かつ主体的に行われていること。先行研究に対峙し得る発想や着眼点があり、それらが一定の説得力を有していること。
4. 論理の一貫性：全体の構成も含めて論理展開に整合性、一貫性があること。
5. 独創性：当初設定した課題に対応した明確かつ独創的な結論が提示されていること。
6. 論文作成能力：文章全体が確かな表現力によって支えられており、要旨・目次・章立て・引用・注・図版等に関して学術論文としての体裁が整っていること。
7. 研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な論理的配慮がなされていること。また、学内の倫理規定や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守していること。

### (3) 修士学位取得プロセス

修士学位取得プロセス（標準修業年限の場合）

教育学研究科における修士学位取得までのプロセスは下記表の通りです。

入学					
1年次	前期	大学院講義・演習受講	研究指導受講	(4月) ・オリエンテーション ・前期履修登録	
				(5月) ・研究指導教員の決定 ・研究計画の提出	
後期	(10月) ・後期履修登録 ・研究構想の提出				
	(11月) ・研究構想発表会				
2年次	前期			(4月) ・前期履修登録 ・研究計画の見直し	
				(6月) ・修士論文中間発表会 ・修士論文題目及び概要提出	
	後期				(10月) ・後期履修指導
					(12月下旬) ・修士論文の提出
					(1月上旬) ・主査・副査の決定
					(2月中旬) ・修士論文審査
				最終試験	
			合否判定		
			製本用論文の提出締切 修士論文発表会（公開） 修士課程の終了		
学位授与式					
(製本論文 交付)					